

ネオリバー S-651



従来型、ジクロロメタン系、浸漬用 ポリウレタン、エポキシ塗膜に有効 (フェノール類を含まない、強力型)

ネオリバー S-651 は、小物、凸凹の多い部品や器具、塗装用ハンガーなどを浸漬して剥離するのに適しています。ほとんどの一般塗膜をはじめアクリル樹脂、エポキシ樹脂系、カチオン電着塗膜に対して強力な剥離性能を発揮します。

性 状	外 観	褐色液体
	臭 気	刺激臭
	p H	適用外 (1%水分散液で 2.9[代表値])
	比 重	1.3 (20℃) [代表値]
	引 火 点	なし
	金属腐食性	鉄は錆の発生。亜鉛、マグネシウム、高張力鋼は使用不可
剥離性能	有 効 塗 膜	アクリル、メラミン、ポリウレタン樹脂系塗膜、電着塗膜など
	参考剥離時間	30~100 分 (20℃) 塗膜厚は標準 1 回塗り 多層塗膜の場合、浸漬時間は長くなります

使用方法

1. SDS を必ず読んでから作業をします。
2. 使用前に缶を軽く振り均一になるように攪拌します。ウエスなどでキャップを覆いガスの抜けるのを待ってから開けます。
3. 希釈せずに使用します。
4. 剥離槽はポリエチレン、ステンレス (304,316) 製が適しています。
5. 剥離槽内にバケツを用意し、この中に剥離対象物を入れて作業をすると効率的です。
6. 剥離対象物を完全に浸漬します。塗膜が軟化膨潤するか、浮き上るのを確認してから引き上げます。
7. 槽から引き上げる時は、液切りを十分にし、圧力水などで塗膜を洗い流します。水で洗い流す前に、水洗槽を設置して予備洗いをすると効率的です。
8. 槽内に塗膜カスが増えると剥離能力が低下するため、定期的に塗膜カスを除去します。作業を行わない時は槽にフタをして蒸発を防ぎます。
9. 再度浸漬して剥離する場合は、被剥離物の水分を出来るだけ取り除きます。必要以上に水が入ると剥離能力が低下します。



三彩化工株式会社

<http://www.sansai.com>

ISO 9001・14001 認証取得

本社・工場

本社・工場 〒531-0076 大阪市北区大淀中 3-5-30
大阪(営) TEL 06-6451-7851(代) FAX 06-6451-1187
東京(営) TEL 047-455-3711(代) FAX 047-455-3722
名古屋(営) TEL 052-321-2051(代) FAX 052-322-3790
広島・福岡(駐) TEL 092-719-1756

ネオリバー S-651

作業上の注意事項

1. キャップを取る時、剥離剤が噴出する危険があります。ウエスなどで覆い、ガスを抜いてからキャップを取ります。特に気温の高い時は内圧が上昇していますので注意する。
2. 中毒性のあるジクロロメタンを含有していますので使用に際しては風通しのよい場所か、十分な換気をする。蒸気は空気より重たく下に溜まりますので、作業の際には必ず下部の換気を行う。
3. 剥離剤が皮膚、粘膜にふれないように、保護手袋、保護メガネ、ジクロロメタンを直接吸い込まないように、有機溶剤用ガスマスクなどの保護具を着用する。
4. 皮膚に付いた場合は直ちに大量の水で15分以上洗い流す。痛みがある場合は医師の診察を受ける。
5. 目に入った場合、そのまま放置すると失明のおそれがあるので、こすらず流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズははずして洗眼する。痛みや異常を感じたら医師の診察を受ける。
6. 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所で安静にします。意識がなくなる等重篤な場合は直ちに医師の診察を受ける。
7. ポリエチレン、ポリプロピレンを除くほとんどの樹脂、ゴムなどを変形、溶解させます。アルミニウムに対して変形、変色の恐れがあるため使用しない。
8. 水洗時に規制対象物質ジクロロメタンが混入します。回収された塗膜と水洗水は特別管理産業廃棄物になります。有資格産業廃棄物処理業者にて処理します。
9. 直射日光や高温のところに置かない、風通しの良い冷暗所に保管します。

荷 姿 20kg 18L アトロン缶

適用法令及び詳細な注意事項につきましては SDS をご参照ください